



SOCIAL ACTIVITIES REPORT

VENTFORET KOFU

2025

BEYOND >>>
FOOTBALL CLUB

Contents

CLUB VISION | 01

環境 | 05

教育 | 07

健康 | 09

国際交流 | 10

様々な活動 | 11

About VFK | 12

SPONSORS | 13

CLUB VISION

ヴァンフォーレ甲府のあるべき姿

-KOFUKU-YAMANASHIへキックオフ-



詳しくはコチラ

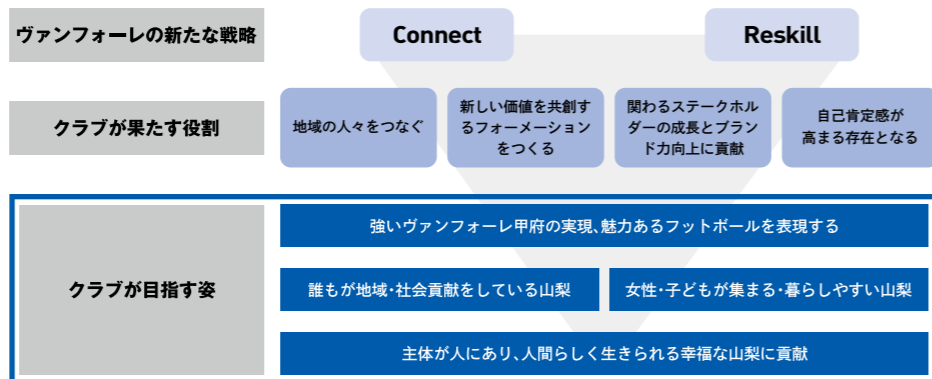
クラブの理念

ヴァンフォーレ甲府は、
人々をつなぎ幸福をもたらす存在でありたい

ヴァンフォーレ甲府は、誰よりもフットボールを愛し、山梨に誇りを持ち、愚直にやり続けることを社会的使命とします。また、スポーツを通じて文化・教育・健康などへの貢献と山梨県並びに各地域との間で新たな価値を共創するフォーメーションを構築して、住んで良し・訪れて良しの豊かなプロヴィンチア「山梨」づくりにフットボールクラブを超えた存在になって貢献します。



クラブが目指す共創の姿



クラブの行う社会共創活動の価値を地域へ還元



これまで取り組んできたサッカー教室やエコ活動など様々な地域交流活動の名称やロゴを変更することではなく、これまでの貴重な取組の延長線としての「持続可能な社会づくり」にクラブとしても新しい地域経済モデルの開発やイノベーション創出を目指すことを「本質的な動機」にできないかとして位置づけています。スポーツ×SDGsをクラブの組織事業戦略基軸の一つとして、より高度に差別化した組織体にと野心的に考えています。



「青少年の健全育成」や「健康で豊かな生活の実現」「国際的視野を広げ、国際協調の精神を養う」という観点に立ち活動を実施しています。また、サッカーだけではなく、様々な運動やスポーツ本来が持ち合せている、楽しさや素晴らしさと共に、仲間と力を合わせる喜び、考えることの面白さなど、これからの社会生活で必要とされる要素を伝えることで教育の一助とすることも目的です。



社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などと「Jリーグ」クラブが連携して、取り組む活動です。様々な協働者と、共通価値を創る活動を目的に、社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。

Giving back



Topics01 ヴァンフォーレ社会共創サイトオープン

クラブが行う社会共創活動を発信するツールとして、新たに「ヴァンフォーレ社会共創サイト」をオープンしました。

こちらには、日々行っている社会共創活動についてのニュースやレポートなど、活動に関する詳細を掲載しています。

クラブが行う幅広い社会共創活動をぜひご覧ください。



ヴァンフォーレ社会共創サイト

150

環境

健康

教育

国際交流

ホームタウン

パートナー

LANGUAGE

U15

YAMANASHI



Beyond Football Club

ヴァンフォーレ甲府は、人々をつなぎ幸福をもたらす存在でありたい

Topics02 「山梨県立やまなしパラスポーツセンター」指定管理者受託

株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブは、山梨県が整備した「山梨県立やまなしパラスポーツセンター」の指定管理者として、指定を受け、2025年3月1日より管理運営をしています。本施設は、障がい者の生きがいの創出と社会参加の促進を図り、併せてパラスポーツに対する県民の理解を促進し、共生社会の実現に資するために整備された施設です。

これまでヴァンフォーレ甲府というプロサッカーチームの運営を通じて、プロスポーツによる感動と熱狂を提供してきただけではなく、スポーツが持つ発信力や一体感、自己実現力と

いう「スポーツのちから」の具現化に取り組んできました。

本施設の管理運営においては、クラブがこれまでの取り組みで蓄積してきたノウハウを存分に活用し、一人でも多くの県民の皆さまがスポーツの喜びや幸福を体験することができるインクルーシブな社会の実現に向けたシンボル施設になるように安心安全はもとより適正な管理運営を行っています。

こちらの施設は、誰もが使いやすい施設で、どなたでも利用可能です。



祝 やまなしパラスポーツセンター
オープニングイベント

山梨県立やまなしパラスポーツセンター

■〒400-0811 山梨県甲府市川田町517 ■055-227-2332

■開館時間9:00～21:00

※4～9月末の土曜日は22:00で閉館

■休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝祭日の翌日・年末年始

講座紹介・施設予約など
詳細はホームページへ

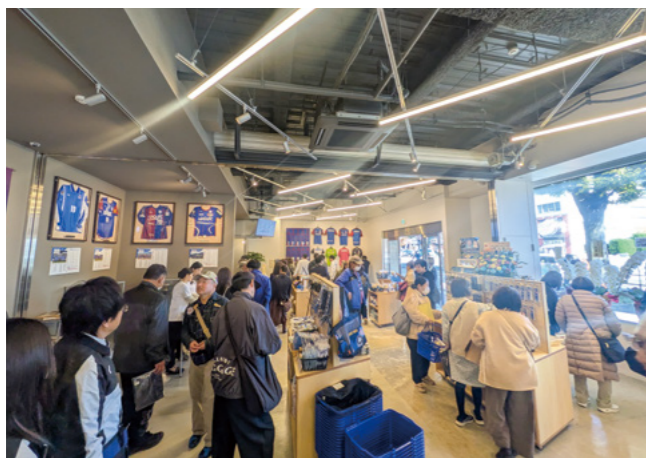


Topics03 山梨中央銀行と協業したオフィシャルグッズストアのオープン

山梨中央銀行と協業し、オフィシャルグッズストアをwithKOFU内に新たにオープン。これまで地域密着型スポーツクラブと地域密着型金融機関という別のフィールドでそれぞれが地域貢献を続けてきましたが、「地域と共に歩み、地域と共に未来を創る」というビジョンを共有する中で両社が手を取り合い、業種を超えた連携による共同店舗という新たな挑戦に至りました。

地域の人々が気軽に立ち寄れ、世代を超えて交流できる「接点の場―集いの場―チャレンジの場」をコンセプトに、クラブの情報発信や様々な活動の場にとどまらず、地域コミュニティの活性化、甲府市中心市街地活性化の一助となり、地域の新しい未来を共に育む拠点として運営しています。

クラブのオフィシャルグッズストア、オフィシャルカフェ・スポーツバーのほか、山梨中央銀行インターネット富士山支店甲府駅前出張所、ATM、IT企業とコラボレーションしたデジタルデバイス体験スペースがあり、2階のホールではセミナーやヨガ教室、イベント開催などを予定しています。また、カフェ・スポーツバーではパブリックビューイングも開催予定です。





金融・スポーツ・デジタルの融合から
新たな体験を生み出すスペース

withKOFU

〒400-0031 甲府市丸の内2丁目16-2



オフィシャルグッズストア
Vent STORE
11:00～19:00 火曜定休



オフィシャルカフェ・スポーツバー
Vent CAFE
11:00～22:00 火曜定休

Topics04 NTTドコモとの地域経済活性化に関する協賛契約締結

サッカーの魅力を通じて地域とファン・サポーターのつながり方を、より多様に・楽しく・新しく進化させ、サッカーの感動を共有できる「仲間」の輪を広げる取り組みの展開を目指し、NTTドコモと共同して「地域」と「ファン・サポーター」の絆を深め、山梨県の地域経済の活性化に貢献することを目的に、NTTドコモと地域経済活性化に向けた協賛契約を締結しました。

ファン・サポーターや地域の企業の皆さまと共に、地域に根差した活動を展開する活動で、クラブを応援する「d払い」加盟店、「d払い×ヴァンフォーレ甲府応援店」の拡大や、応援店舗限定のキャンペーンを実施するなど、サポーターの拡大を図るとともに、クラブの応援や支援に向けた取り組みを共同で推進します。

Topics05 中央市と「スポーツを基軸としたウェルビーイング推進に関する連携協定」締結

中央市と株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ及び一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブは、市民のウェルビーイングの向上を図るとともに、地域の魅力や活力を高めることを目的とし協定を締結しました。

これまで「シニアわくわく健康運動教室」や「女性のためのシェイプアップサッカー教室」「外国籍児童第三の居場所事業」「交流人口増加を目的としたアウェイゲームでの観光推進事業」など多岐にわたり連携してきましたが、今後も緊密に連携し、市民自らの可能性を最大限発揮できるよう、スポーツ等を通じてこれまで以上に幅広く協力することを目的とします。



Topics06 「出張！ヴァンフォーレパークinかすがも～with水素エネルギー」の開催

「SDGs推進に関する連携協定」を締結するホームタウン甲府市との協働で、甲府市中心市街地のにぎわい創出を目的に、イベントを実施しました。

クラブを地域資源として捉え、中心市街地・中心商店街のにぎわいを創出するとともに、魅力向上を図ることも視野に、また、甲府市が全国でも先進的に事業・研究を実施している「水素」に着目し、本イベントにかかる電力の多くを、山梨トヨペットの水素エネルギーを活用する燃料電池自動車「MIRAI」「クラウンFCEV」より供給しました。

出張！ヴァンフォーレパークinかすがも～with水素エネルギー

○本イベントにかかる電力は、次世代エネルギーとして期待されている水素エネルギーを多く利用した、サステナブルなイベントです！

【開催日】2025.10.18 11:00～17:00

【場所】かすがも～（甲府市中央1区）

【協賛】株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ/甲府市

【協力】山梨トヨペット株式会社/合同会社まちづくり甲府/ヴァンフォーレおしるんど/一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ



イタリア・ミラノのRIGHT HUB 社との協働による ISO 20121:2024フレームワーク作成・導入

Topics04

ISO 20121:2024は、イベント運営における環境影響の管理に加えて、その経済的・社会的影響についても管理することで、イベントの持続可能性(サステナビリティ)をサポートするマネジメントシステムの国際標準規格であり、イングランドプレミアリーグのクラブなども導入しています。クラブもこの考えに基づいたフレームワークを導入し、サステナブルなスポーツマネジメントを追求しています。

さらに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)にも沿い、クラブのサステナブルな活動を継続的に改善することを目的としたESG戦略(環境・社会・ガバナンスを考慮した経営方針)を実施しています。

※RIGHT HUB社はこれまでに世界60以上のISO 20121プロジェクトにアドバイザーとして関与し、豊富な知見と実績を有しています。

Topics05 県営水力FIT非化石証書活用による脱炭素経営実証事業の実施

山梨県営水力FIT非化石証書を活用した脱炭素経営モデル推進実証事業に参加しました。この事業は県営水力発電所に限定したFIT非化石証書を山梨県企業局が一般社団法人日本卸電力取引所(JEPX)から代理購入し、それをクラブをはじめ県内数社が活用し、企業活動に伴う電力消費から生じるCO₂をカーボンオフセットにより削減するものです。

また、クラブの活動に山梨県内の水力発電で生まれた実質再生可能エネルギーを活用することで「環境価値の地産地消」を行い、山梨県企業局とコラボした環境講座を併せて行うなど、気候変動に対する活動と地域貢献を両立して行いました。

■概要:

県営水力発電所のうち甲府市の荒川ダム管理用発電所の環境価値を活用し、2025年4月以降の一部練習場、選手寮などのクラブの活動に伴う電力由来のCO₂排出量を削減します。特にJIT リサイクルリンク スタジアムで行う全試合(天皇杯を除く)に活用、さらに今までの、NPO法人みどりの学校、NPO法人太陽光発電所ネットワーク山梨地域交流会と協働したグリーン電力導入と合わせることで、今シーズンの4月5日(土)いわきFC戦以降の試合を、電力由来のCO₂排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラルゲーム」といたします。

■カーボンオフセット対象施設:

- ・JIT リサイクルリンク スタジアム
- ・山梨大学医学部グラウンド
- ・八田河川敷グラウンド(アカデミー練習場・クラブハウス)
- ・選手寮 など



Topics06 「山梨県地球温暖化対策普及啓発事業」への協力



山梨県の地球温暖化対策の普及啓発に協力し、「ヴァンくん・フォーレちゃんといっしょに見てみよう! 100年後の山梨県」という漫画冊子の作成に協力。マスコットが地球温暖化を解説する内容となっています。

地球温暖化対策について、家庭内で情報を共有できるよう、わかりやすく伝えることにより普及啓発を図り、意識変容や行動変容を促すことを目的としており、イベントや山梨県庁での配布、山梨県ホームページでダウンロードできます。

詳しくはこちら



VENTFORET Topics 環境 Environment

Topics01 大阪・関西万博への参加

大阪・関西万博テーマウィークの一環として実施された「プラスチック資源循環普及啓発のための展示・イベント」(環境省・経済産業省主催)のトークセッションに、クラブスタッフが登壇。スポーツ界のプラスチック削減・循環について、またクラブが行う事例について紹介、他の登壇者からも先駆けて素晴らしい取り組みだという評価をいただきました。



Topics02 Jリーグサステナカップの開催

各クラブのサポーターがスマホアプリから気候に関するクイズや、環境に優しいアクションを投稿することによりポイントを取得する、Jリーグ主催のクラブ対抗型オンラインイベント「サステナカップ」。サポーターの皆さまによるたくさんの投稿により多くのポイントを獲得し、最終順位は60クラブ中10位。クラブが取り組む環境対策とともに実践してきたサポーターの皆さまの環境意識の高さを証明する取り組みとなりました。



Topics03 山中湖村環境デー トークセッションへの参加



環境保全に関する企業や団体の取り組みの展示や体験の他、記念式典、子どもも遊びながら山中湖村の環境についてを学べる様々なコンテンツが実施されました。

その中で小椋クラブアンバサダーとクラブスタッフがトークセッションを実施し、クラブにおける環境の活動を紹介し、環境保全の啓発を行いました。

Topics02 「ヴァンフォーレ地球のチカラ」の実施

2019年にCOP24参加、2021年にはSDGs宣言を行い、ホームゲームでのリユース食器は2004年に導入し20年以上使用している先進的な取り組みは、各方面から評価をいただいています。この講座では、環境の変化がスポーツ界に与える影響やクラブが行う環境施策やその成果など、お子さまの自主学習や自由研究などにも活用できる内容として実施しました。

また、HEROs PLEDGE と共に行うスポーツ界横断のプラスチックごみ削減活動や、NPO法人海さくらと協働するスタジアム周辺のゴミ拾い活動、ホームゲームでのフードドライブの実施など、他クラブに先駆けて各団体と協働して行っている活動についても紹介なども行い、クラブの活動への理解を深めていただきました。

この講座はホームゲームやイオンモール甲府昭和で実施し、多くの方にご参加いただいたほか、山梨県企業局ともコラボして実施。今後は学校現場での実施も予定されているなど、様々なステークホルダーと共に行っていく予定です。



Topics03 その他の学校訪問事業

選手がアスリートの食事について話をする「ヴァンフォーレご飯のチカラ」、選手がサッカー選手になるまでのストーリーを話す「ヴァンフォーレ夢のチカラ」、そのほかクラブスタッフによる職業講話など県内全域で毎年約30校ほど実施し、多くの児童・生徒の皆さまへ選手とクラブが持つリソースを提供しています。

また、「ヴァンフォーレご飯のチカラ」は山梨県やヴァンフォーレおしろらんどなど、様々なステークホルダーの皆さまと協働して実施しているものもあります。



VENTFORET Topics

教育 Education

Topics01 「ヴァンフォーレ読書のチカラ」の実施

山梨県内ではコロナ禍以降、小中学生の図書館・図書室離れが加速し、不読率(学校の授業以外で全く本を読まない児童・生徒の割合)は上昇しています。2015年以降に行った調査では直近の調査が過去最低を記録しました。※山梨県内読書関連調査より

そして中央市内小学生における不読率の平均は20.9%、中学生では34.7%であり、調査開始した2013年より上昇しており、学年が進むにつれて読まなくなる傾向にあります。※第3次中央市子ども読書活動推進計画より

これら読書離れに対してアプローチすべく、中央市の小中学校と連携し、「いつもとは違った角度」から本や読書に触れるきっかけをつくる授業を、出版取次事業を主とし、「あさどく」を始めとする多くの取り組みを推進してきたトーハンと一緒に実施しました。「選手と一緒に“好き”を詰め込んだ「空想書店」を考えよう!」と題し、オリジナルのワークシートを選手と一緒に作りながら、自分ならではの書店を考え、お互いに発表やアドバイスをを行い、自分の好きなものから読書・本を身近に感じてもらう取り組みを国語や総合学習の時間を使い行いました。

学校内で投票を行い、上位に選ばれた児童・生徒、さらに選手が選んだ最優秀賞の皆さまはホームゲームでの表彰式への参加、そして作品の展示も行い多くの方々に取り組みを見ていただくことができました。

今後は、中央市内全体の取り組みとして発展させていく予定です。



健康 Health

Topics01 介護予防事業「シニアわくわく健康運動教室」

2007年からシニア世代の健康増進や体力維持を目的とし、地元各種団体と連携した軽運動、フィットネスダイレクターやアカデミーコーチによるエクササイズ、ボール運動、脳トレなどを取り入れた「シニアわくわく健康運動教室」を甲斐市・笛吹市・甲州市・中央市で開催しています。

近年急速に進行する高齢社会に備え、慢性的な運動不足の解消とフレイル予防、認知症予防の観点からの健康維持を通じ地方自治体の財政を圧迫する医療費を圧縮することも目標としています。

また、効果を見える化するためにAIを活用した姿勢解析を導入するなど、これらの継続した取り組みへの評価により、各市町村や団体と新たな介護予防事業を協働で実施するなど、成果をあげています。



Topics02 ヴァンフォーレヘルスポ川柳

山梨県国民健康保険団体連合会との連携協定に基づき、健康とスポーツについて、自らの健康づくりや日々の生活の中における体験などを五七五の調べにのせた『ヴァンフォーレヘルスポ川柳』を実施しました。全国から400を超える作品のご応募を頂き、入選20作品を決定し、ホームゲームにて表彰式を開催しました。

「する、みる、ささえる」スポーツ・運動の持つ価値がメンタルヘルス、コミュニティ形成のキッカケになり、県民の皆さまの健康に寄与できることを表現する取り組みです。

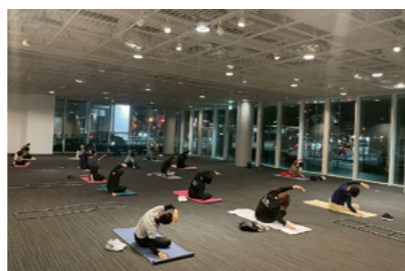


Topics03 地域で活躍する人材と協働した運動プログラム

クラブに所属するコーチ・スタッフだけでなく、地域で活躍する人材や団体と共に行うプログラムを実施しています。

定期的に開催しているヨガ、アジリティ・ラン(走り方教室)、アイスホッケー等の教室のほか、食育のイベント・講座など多岐に渡ります。

さらに、この講師同士がコラボしたプログラム(ヨガとフィットネス、栄養学を組み合わせたプログラム等)も実施しており、クラブがハブ・起点となって様々な可能性が地域に広がっています。



国際交流 International Exchange

Topics01 サッカークリニックinインドネシア2025

サッカーを通じて東南アジア諸国の子どもたちにスポーツの楽しさを感じてもらおうとともに、現地の方と交流し、クラブに関わる様々なステークホルダーの皆さまと現地の皆さまを繋ぎ、新しい価値を共創することを目的とし、昨年、一昨年に続き、インドネシアでのサッカー教室を開催しました。この事業を通じて、東南アジア諸国において活動を持続的にいき、国際交流の機会を増加させることでクラブの魅力を伝え、またJリーグ及び日本サッカー界全体の価値向上も目的としています。今後も東南アジアを中心に、海外での活動を継続的に行っていきます。



Topics02 ASEAN Football 4SDGsフォーラム

「ASEAN Football 4SDGs」プロジェクトは、ASEAN諸国が直面する喫緊の社会課題に対してスポーツの力を活用した持続可能な解決策を見出すことを目的に立ち上げられ、これまでにサッカーをモデル競技として位置づけた様々な取組が進められてきました。

クラブはカンボジアでのワークショップに登壇し、これまでの取り組みについて発表をしました。また、プロジェクトの集大成としてシンガポールで開催された、ASEAN Football 4SDGsフォーラムでは、ASEAN地域内外の15カ国 以上から150名を超える関係者が集まり、サッカーを通じたSDGs達成へ向けた取組に関する知見やベストプラクティス例などが共有されました。サッカー連盟、スポーツ関連の省庁、リーグ、クラブ、民間企業、NGOなど立場や役割を超えた幅広い関係者が集結し、まさにサッカーが生み出す連帯の力を体現する場となりました。



Topics03 『スポーツシンガポール(SportSG)』と覚書を締結

シンガポール政府・文化社会青年省 (Ministry of Culture, Community and Youth of Government of Singapore) の法定機関である『スポーツシンガポール(SportSG)』と覚書を締結し、当該機関直下でサッカーの水準向上を推進する国家プロジェクト『Unleash the Roar! (以下、UTR!)』から、ナズリ ナシル氏をトップチームのアシスタントコーチとして迎えました。

2023年1月にU-18がシンガポールで初となるトレーニングキャンプを実施したことがきっかけとなり、政府と協会、地元チームとの交流が深まることとなりました。

アジア諸国においても強みを発揮できる貴重な機会であると捉え、シンガポールサッカーの発展に貢献することも目指します。



VENTFORET Topics

ホームタウンにおける様々な活動 Other

Topics01 選手母校への招待企画



2025シーズン開幕前、選手をより身近な存在として感じてもらうために、選手母校への招待企画を実施しました。試合当日は多くの児童の皆さまが先輩を応援しようと来場しました。

Topics02 地域イベントへの参加

地域で行われる多種多様なイベントに、選手・スタッフ・マスコットが参加しています。



この冊子は環境に配慮した用紙とインクを使用して制作しています。



VENTFORET Topics

ヴァンフォーレ甲府について About Ventforet

クラブ概要

法人名	株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
代表	代表取締役社長 佐久間 悟
所在地	〒400-8545山梨県甲府市北口2-6-10
電話番号	055-254-6867
事業内容	①サッカークラブの運営 ②サッカー試合の開催、運営 ③その他クラブ運営に関する一切の業務 ④旅行業代理店
発足	1965年(甲府第一高OBを中心に甲府サッカークラブとして)
設立	1997年2月7日
資本金	3億6,700万円
株主	山日YBSグループ…9,120万円(24.9%) 山梨県…8,000万円(21.8%) 甲府市…4,000万円(10.9%) 韮崎市…2,000万円(5.4%) その他企業・団体…83企業 個人…267人

法人名	一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ
代表	代表理事 長田 圭介
所在地	〒400-8545山梨県甲府市北口2-6-10
電話番号	055-267-7686
事業内容	①サッカーの普及・育成を図る活動 ②学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動 ③国際交流活動に関する事業
設立	2016年11月22日



チーム名の由来

「VENT(風)」「FORET(林)」というフランス語の組み合わせで「風のように疾く、ときには林のように静かに…」で知られる戦国時代の武将、武田信玄の旗印「風林火山」に基づきます。



エンブレム

チームカラーの青を基調にデザイン。山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、ヴァン(風)フォーレ(林)のチーム名の由来である武田信玄の家紋・武田菱と、山梨の特産品であるぶどうをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味します。



ヴァンフォーレ甲府クラブマスコット

ヴァンくん(左)

山梨特有の日本犬で、国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフ。みんなから親しみやすく、覚えやすい名前であること、サポーターのみなさんからの応募数が一番多かったこと、そして「ヴァンフォーレ甲府」の頭の部分を取って命名されました。

フォーレちゃん(右)

ヴァンくんと同じ「甲斐犬」をモチーフにしており、ピアノが得意な女の子です。山梨の名物である、ぶどうの葉をイメージした前髪が特徴です。ヴァンくんと一緒にチームを盛り上げます。

クラブの歴史

1965	甲府第一高OBによる「鶴城クラブ」を母体として日本サッカーリーグ(JSL)を目指す「甲府クラブ」を結成。
1995	チーム名を「ヴァンフォーレ甲府」に改称。
1997	「株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ」を設立。
1999	J2に参戦するも最下位で終了。
2000	19連敗を含む26試合未勝利を記録し、2年連続最下位。12月には存続の危機に直面。
2001	主要株主より役員らが再建に着手。チームは3年連続最下位で終える。
2005	J1・J2入れ替え戦で柏レイソルに2連勝し悲願のJ1昇格。ホームタウンを甲府市、韮崎市を中心とする全市町村へ変更。
2012	24戦無敗を記録し、J2優勝を飾る。
2017	4月より「一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ」の活動を開始。
2022	天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会にて初優勝。クラブ初の主要タイトル獲得。
2023	J2としては17年ぶりにAFCチャンピオンズリーグへ参戦。国立競技場でホームゲームを行い、J2として初めての勝利を記録。
2024	AFCチャンピオンズリーグにてベスト16。

オフィシャルメディア

オフィシャルホームページ



社会共創サイト



オフィシャル



@vfk_official

チャレンジSDGs活動



@vf_sdgs



Instagram



@vfk_official



Youtube



@ventforetkofu1965

新スタジアム整備に向けての構想について

ヴァンフォーレ甲府は改めて新スタジアムの整備に向けて、クラブ内でプロジェクトチームを発足しました。

この新スタジアム構想は、コロナ禍になる以前からクラブを中心に、関係する皆さまとの間で話し合われていたことであります。

昨今、建設費などのコストが大幅に上昇し、以前より取り巻く環境が大きく変化したことは理解しつつも、引き続き『新スタジアム』という夢に向けての挑戦を続けていきます。



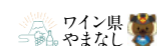
2025 VENTFORET KOFU OFFICIAL SPONSORS

スポンサーの皆さまのご支援に心から感謝申し上げます

■ユニフォーム・練習着



山梨中央銀行



■チケットングパートナー



■ユニフォームサプライヤー



■選手入場ロード



■応援定期協賛



■ピッチ看板



■ベンチ屋根



■砂場保護シート



■フェアプレー



■スタッフウェア



■イベント



■アカデミー



■審判



■HPバナー



■バックスタンドバナー



■フェンス横断幕



■ベンチ



■カート看板



■メインスタンドバナー



■ベンチ前看板



■メインスタンド最前列バナー



■試合球スタンド



■ベンチパネル



■グルメパートナー



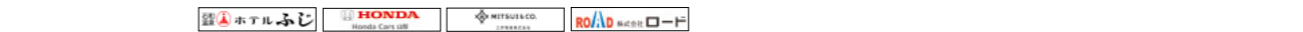
■エスコートキッズ



■コンコースパナー



■PRスポンサー



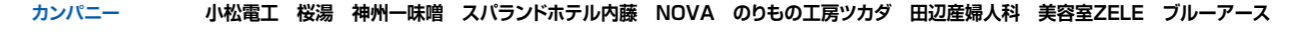
■その他のスポンサー



■社会共創パートナー



■サポートカンパニー





山本 透亜さん

(入社6年目)

モットー | できるかできないかではなく、
やるかやらないか

「才能があるわけではなく、できることを積み上げてきただけ」と語る山本透亜さん。改善活動や技術競技大会への挑戦、後輩への支援など、日々の積み重ねが周囲の信頼につながっています。

社員一人ひとりの努力を尊重し、挑戦を後押しする風土の中で、個人の成長が現場をより良くし、チームの力になっていく——キトーは、そんな環境づくりを大切にしています。

キトーの社会貢献活動



富士山周辺の外来植物の駆除活動や、地域の子どもたちへの工場見学・演劇鑑賞支援などを通じて、キトーは地域社会とのつながりを深めています。本社工場のオフィス棟「COSMO TERRACE (コスモテラス)」は、山々に囲まれた景観や葡萄棚の風景を取り入れた建築デザイン、日照時間・井水・風といった地域資源を有効活用することでZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を実現しています。

すべてのお客様に満足と感動を

キトーは、1932年の創業以来、モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠なマテリアルハンドリング機器を作り続けています。

安全性と耐久性に優れた製品、それを生み出す無駄を排したクリーンな生産・供給プロセス、そしてお客様との相互信頼に根ざしたアフターサービスによって、安全な作業環境の実現のみならず、環境負荷の低減など、幅広く社会に貢献しています。



KITO®

株式会社キトー 本社工場

〒409-3853

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000

TEL. 055-275-7521

<https://kito.co.jp>



がんばれ!ヴァンフォーレ甲府

キトーは「地域社会に貢献する」という同じ理念を持つ、
ヴァンフォーレ甲府を応援しています。